

付注 1-1 為替の変動が輸出に与える影響

為替の変動が輸出に与える影響を試算するために、以下のとおり輸出価格（ドル建）関数、輸出数量関数を推計した。

(1) 輸出価格（ドル建）関数の推計結果

推計式 $\ln EXP = C + \alpha \ln RAT + \beta \ln WPI + \gamma \ln WPIJ$

推計期間 92年I期～2001年III期

()内はt値

t	α	β	γ	C	\bar{R}^2	D.W
0	0.173 (6.515)	0.671 (6.208)	0.783 (4.014)	-4.226 (-4.576)	0.87	1.29
-1	0.140 (6.623)					
-2	0.096 (4.624)					
-3	0.049 (2.451)					
合計	0.458					

最小二乗法により推計、シララグを用いた。

EXP : 輸出価格指数（ドル建）

C : 定数項

RAT : 名目実効レート（JP-Morgan）

WPI : 世界の卸売物価指数

(アメリカ・ドイツ等10カ国の卸売物価指数を日本の輸出金額で加重平均)

WPIJ : 日本の国内卸売物価指数

(2) 輸出数量関数の推計結果

推計式 $\ln EXQ = C + \alpha \ln WIMQ + \beta \ln RPI$

推計期間 92年I期～2001年III期

()内はt値

t	α	β	C	\bar{R}^2	D.W
0	0.393 (16.478)	-0.083 (-2.061)	3.936 (8.444)	0.88	1.51
-1		-0.089 (-2.722)			
-2		-0.094 (-3.244)			
-3		-0.090 (-3.235)			
-4		-0.071 (-2.596)			
-5		-0.041 (-1.668)			
合計		-0.468			

最小二乗法により推計、シララグを用いた。

EXQ : 輸出数量指数（季節調整値）

C : 定数項

WIMQ : 世界輸入数量指数（季節調整値）

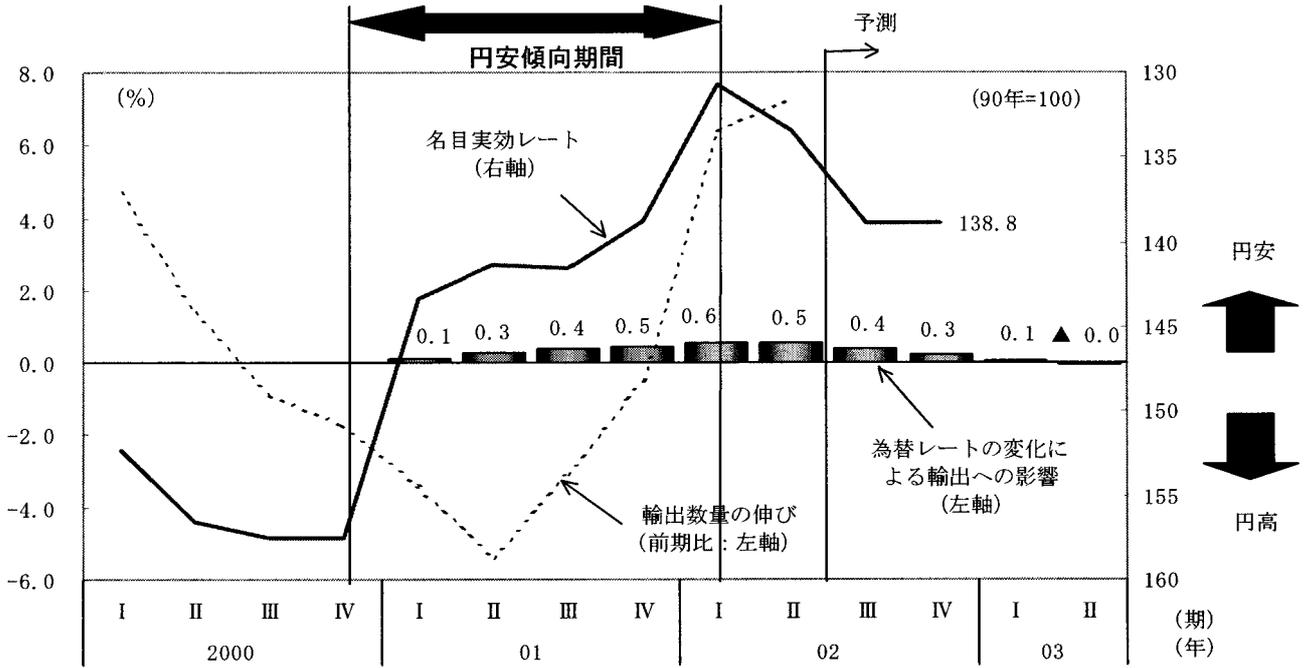
RPI : 相対価格（＝輸出価格指数（ドル建）／世界卸売物価指数）

以上の関数推計の結果に基づいて、2000年第IV期以降の為替（名目実効レート）の変化が輸出価格に与える影響を、さらに、輸出価格の変動が輸出数量に与える影響を試算した。

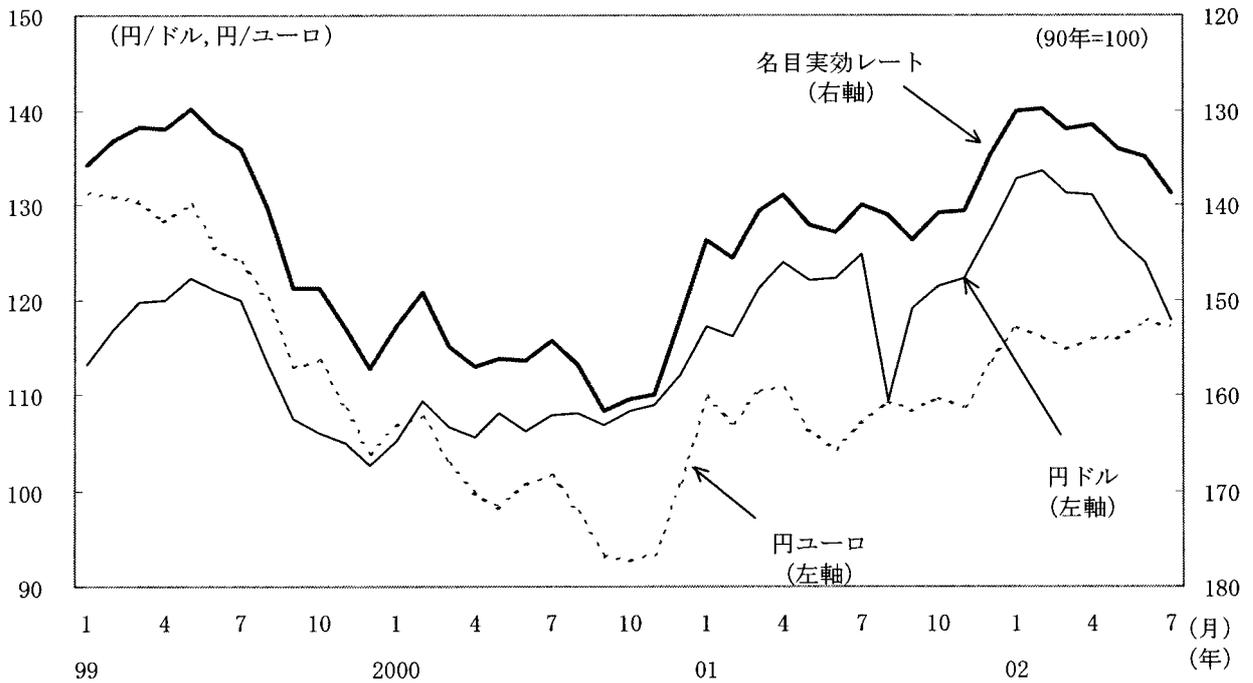
試算にあたっては、名目実効レートが00年IV期の水準で01以降推移したと仮定した場合と、現実のレートとの差をもとに試算した。

また、2002年Ⅲ期以降の為替変動要因については、同年7月の名目実効レート（138.8）の水準が続くとの前提に試算した。

(3) 為替の推移と輸出の伸びにおける為替変動要因の寄与



(参考) 為替レートの推移



(備考) 財務省「貿易統計」、JP-Morgan「Currency Indices」などにより作成。